



にしはら

2014
No.514
12

我謝で“7年まーる”十五夜村あしび開催



(関連記事20ページ)

町の世帯・人口 平成26年10月31日現在

人口	男	17,624人
	女	17,566人
	計	35,190人
世帯数		13,732世帯
特定健診の受診状況 (平成26年10月末日現在)		
受診率		18.9%
平成26年度受診率目標		45.0%
目標まであと		1,718人

今月のトピックス

- まちの財政事情(平成26年上半年) 2
- 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種 7
- 平成27年西原町新春の集い 3
- 若田光一さんミッション報告会を開催 11
- 西原町人材育成会 学資金貸費生募集 4
- 西原町・町教育委員会臨時職員及び嘱託職員募集 13
- 家庭教育ダイアログのご案内 4
- 下水道接続工事の補助金 14
- 女性がん検診の無料クーポン 5
- 税の納め忘れはありませんか? 15
- 災害時要援護者台帳 5

西原町ホームページ <http://www.town.nishihara.okinawa.jp/>

舞台上組踊などを力強く熱演！～我謝地区で「十五夜村あしび」を開催～

我謝地区に伝わる伝統の「我謝十五夜村あしび」(同実行委員会・我謝自治会主催)が、10月26日に我謝公民館に設置された特設会場で開催されました。

「我謝十五夜村あしび」は、かつて我謝地区で行われていた行事ですが、途絶えていた時期がありました。2008年に我謝自治会が中心となって57年ぶりの復活を遂げ、今回はそれ以来の「7年まーる(7年に1度)」での開催です。台風の影響で開催が2週間延期されましたが、この日は地元住民はもとより地区内外から500名あまりの観客が会場を訪れました。

開催にあたって、新垣正廣実行委員長は「町内外からたくさんの方が見に来られている。必ずみなさんに満足いただける組踊を披露する」と力強くあいさつしました。

第1部では約170年前に誕生し、我謝に伝わる伝統の「獅子加那志」の御願が催され、舞踊や空手に続いて獅子ケイが演じられました。我謝の獅子舞は、県内でも他に類を見ない特徴的なものといわれており、独特の激しい動きに多くの拍手が送られていました。



美しい琉球舞踊や力強い空手の演武などが披露されました。獅子ケイでは子ども獅子(右から2番目)も演じられました。

第2部の組踊では、だまし討ちで地位を追われた者の敵討ちを描いた作品「久志の若按司」が披露されました。観客は夜風を感じながら、演者が繰り広げる伝統の劇と渾身の演技を堪能しました。



多くの観客で会場は埋め尽くされ、組踊「久志の若按司」では演者が熱のこもった演技を繰り広げられました。

芸術の秋を堪能、西原町文化祭を開催

芸術鑑賞の機会を作り、芸術文化活動に対する意識の高揚、文化の創造や発展を目的として、「第13回西原町文化祭」(西原町文化協会主催)が、10月18日と19日の2日間、西原町町民交流センターで開催されました。本事業は今回から、展示部門が町民交流センターの町民広場で、舞台部門がさわふじ未来ホールで行われました。

開会セレモニーで町文化協会の新里勝弘会長は「新庁舎ができて、展示部門と舞台部門を同時に開催できるため、より多くの方に両方を味わっていただければ。多くの会員の作品や舞台を楽しんでいただきたい」と、開催にあたってあいさつしました。

展示部門では書道、写真、美術工芸、華道などの作品約170点が並びました。また、茶道部会が呈茶席を設け、来場者に茶をふるまいました。舞台部門では民謡、日舞、詩吟、武術、洋楽、大正琴の各部会がそれぞれ演奏や演舞などを披露したほか、古典音楽のプログラムでは、古典音楽、箏曲、琉舞、太鼓の音色が響きました。



開会セレモニーのテープカット

呈茶席



数多くの作品が展示されました

舞台部門では多くのプログラムが行われました